

## 藻類養殖情報（令和7年2月号）

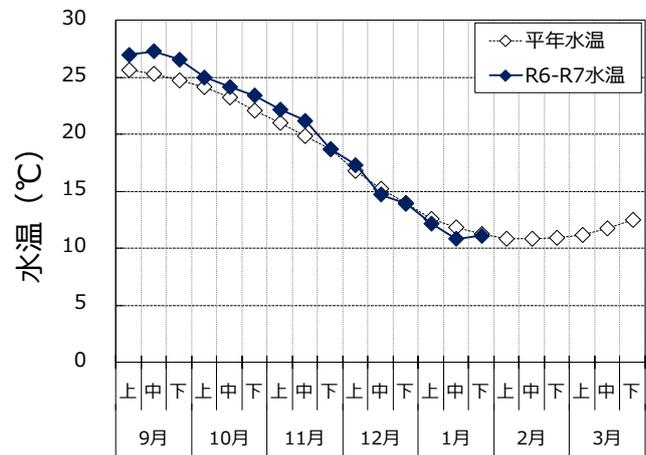
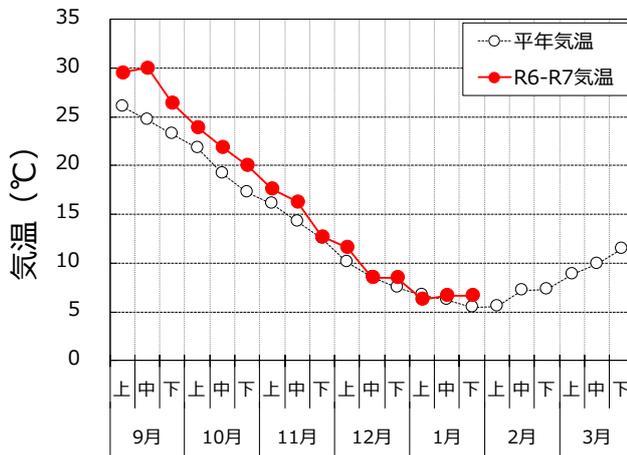
令和7年2月14日発行  
（地独）大阪府立環境農林水産総合研究所  
水産技術センター

### ○漁場環境

- ・気温（谷川）：1月上旬から中旬はおおよそ平年並みでしたが、下旬は平年より1.2℃高めとなりました。
- ・水温（谷川）：1月上旬は平年より0.4℃、中旬は1.0℃低めに推移しましたが、下旬にはおおよそ平年並みとなりました。

下記の水産技術センターホームページで谷川地先の水温情報を毎日更新し、1週間先までの水温の推移を予測しておりますのでご利用下さい。

URL：<https://www.knsk-osaka.jp/suisan/gijutsu/suion/index.html>



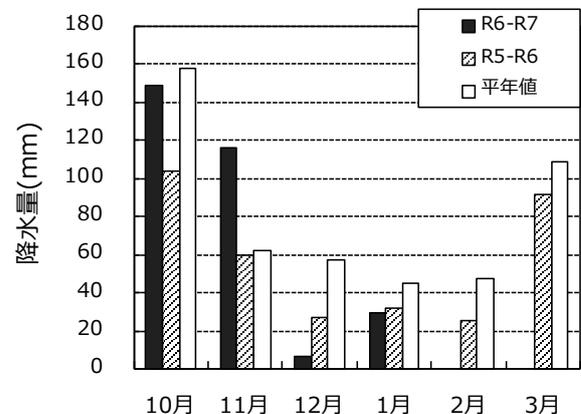
旬別気温・水温の推移（谷川地先9時）（平年値は H26~R5 年度の平均）

- ・降水量（谷川）：1月の降水量は30.0mmとなり、平年の3分の2程度の降水量となりました。

### ・今後の気温降水量予測（気象庁季節予報）

2月8日～3月7日の予報期間中について、気温はほぼ平年並みですが、期間の初めは気温の変動が大きいと予報されています。また、降水量はほぼ平年並みで平年に比べ晴れの日が多い見込みです。

URL：<https://www.jma.go.jp/bosai/season/>



降水量（谷川地先）  
（平均値は H26~R5 年度の平均）



## ○漁場水質調査結果（2月3日採水）

- ・塩分：塩分は30.29～32.65でした。
- ・リン：各地区のリン濃度は0.14～1.42  $\mu\text{mol/l}$ でした。

ワカメ養殖：やや低めの値となっていますが、いずれの地区においても十分な濃度があります。

ノリ養殖：西鳥取地区でノリの色落ち警戒濃度を大きく下回っています。

- ・窒素：各地区の窒素濃度は0.30～14.63  $\mu\text{mol/l}$ でした。

ワカメ養殖：岡田浦、西鳥取、下荘、谷川地区でワカメの色落ち警戒濃度を下回る値となっています。

ノリ養殖：西鳥取地区でノリの色落ち警戒濃度を大きく下回っています。

	ワカメ	ノリ
リン ( $\mu\text{mol/l}$ )	0.1	0.5
窒素 ( $\mu\text{mol/l}$ )	2	10

藻類色落ち警戒栄養塩濃度  
(この数値を下回ると色落ちの可能性あり)

※青字はノリの色落ち警戒濃度以下、赤字はワカメの色落ち警戒濃度以下

漁場	田尻	岡田浦	尾崎*1	西鳥取*1	下荘	淡輪*2	谷川
塩分 (psu)	31.82	31.76	30.29	31.86	31.87	31.73	32.65
リン ( $\mu\text{mol/l}$ )	0.25	0.15	1.42	0.14	0.16	0.21	0.29
窒素 ( $\mu\text{mol/l}$ )	2.97	0.60	14.63	0.30	1.36	2.18	1.94

\*1 尾崎・西鳥取地区にはノリ漁場があります。

\*2 淡輪地区は海洋センター前で採水しています

## ○赤潮発生状況

2月3日の海洋観測では赤潮の発生は認められませんでした。養殖場周辺においても植物プランクトンが特別多い状況は確認できませんでした。最近の大阪湾内の赤潮発生状況については下記の水産技術センターホームページに掲載しておりますのでご参照下さい（冬季は2週間に1回更新）。

URL：<https://www.knsk-osaka.jp/suisan/gijutsu/akashio/akashio/sokuho.html>



## ○養殖状況（2月3日）

ノリ：西鳥取・尾崎両地区ともに、1月上旬は時化が続き作業出来ない日がありましたが、中旬以降摘採作業が行われています。

ワカメ：70cm程度まで生長し、生わかめでの出荷が進められています。1月中旬以降谷川地区でも本養殖が開始されました。

## ○病害異常

今のところ病害異常はありません。

ノリ：藻体の状態を確認し、天気予報に注意しながら摘採スケジュールを検討してください。

ワカメ：栄養塩が低めの状況にあります。1月中旬以降降雨が少なく、河川からの栄養が供給されにくい状況にあったことが要因と思われます。

※ノリ・ワカメの異常が疑われる際には、水産技術センターへ葉体を持参して頂ければ、随時検査します。